

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 北前船
公演団体名	太鼓芸能集団 鼓童

内容
<p>太鼓体験(60分 途中休憩あり、または40分 途中休憩なし)</p> <ul style="list-style-type: none">● 太鼓の基本(構えの姿勢やバチの持ち方など)● 「基本の打ち方」で叩いてみる● リズムのゲーム● 「口唱歌」を知る● 「口唱歌」で曲を覚える <p>※手拍子での参加、学校にある打楽器の使用も検討できます。(要事前打合せ) ※体験メンバーが本公演で演奏に参加することも可能です。(要事前打合せ) 覚えたリズムを全体で復習、公演本番までの宿題の確認</p> <p>〈感染対策〉</p> <ul style="list-style-type: none">・学校側の希望に応じて、短縮版で行う・太鼓体験は、人と人との間隔を十分に取って行う・実施後にバチや楽器の消毒を行う

タイムスケジュール(標準)
<p>〈60分 途中休憩あり〉</p> <p>[1]デモ演奏:5分(1曲) [2]講義(鼓童の紹介、太鼓の紹介など):10分 [3]太鼓体験/本番での共演に向けて:40分</p> <p>〈40分 途中休憩なし〉</p> <p>[1]デモ演奏:5分(1曲) [2]講義(鼓童の紹介、太鼓の紹介など):10分 [3]太鼓体験/本番での共演に向けて:25分</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>5名 メイン講師1名+補助者4名 補助者は楽器運搬、搬入搬出、打合せ、児童生徒のサポートを行う</p>

学校における事前指導
特に不要
学校側で授業やクラブ活動などで和太鼓に取り組んでいる、地域活動で太鼓や民俗芸能などに関わっている児童生徒さんがいらっしゃる場合は事前にお知らせください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 北前船
公演団体名	太鼓芸能集団 鼓童

演目
<p>公演時間(小学生 60分/中学生 70分 途中休憩なし)</p> <p>[1]太鼓演奏(大太鼓[鼓童編曲]、屋台囃子[鼓童編曲]ほか全体で5~6曲)</p> <p>[2]太鼓体験</p> <p>[3]トーク(メンバー自己紹介、楽器の紹介など)</p> <p>〈感染対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓体験と共演は、人と人との間隔を十分に取って行う ・公演前後は、換気と会場内の消毒を行う

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>9名</p> <p>演奏者 : 7名</p> <p>スタッフ: 2名(舞台監督、舞台監督補佐兼制作)</p>

タイムスケジュール (標準)					
小学生 60分/中学生 70分 途中休憩なし の場合					
前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(3時間程度)					
到着	仕込み	本公演(入退 場含む)	内休憩	撤去	退出
10:00	10:00~13:00	13:30~14:50	なし	15:15~16:15	16:15
<p>※本公演時間の目安は、午後1時30分乃至3時の概ね2時限分程度です。</p> <p>※体育館が2階以上、またはステージが仮設もしくはない場合は、目安より1時間程度仕込みと撤去の時間がかかります。</p> <p>※午前中の場合は 8:00 到着/10:30~12:00 本公演(入退場含む)/12:30~13:30 撤去が可能です。</p>					

〈感染対策〉

- ・公演前後は、換気と会場内の消毒を行うための時間を確保する

実施校への協力依頼人員

基本は不要。

ただし、体育館が2階、トラックが体育館に横付けできず搬入経路が長い場合などは搬入時のみ 2～4名お手伝いを相談する場合があります。

演目解説

本公演は、世界的に高い芸術評価を得ている鼓童の舞台を、感性豊かな子どもたちのために平易に親しみやすく紹介するものです。

「太鼓演奏」では、鼓童の舞台を構成している3つの要素(各地の日本芸能に素材をとったもの／外部の音楽家による作品／鼓童メンバーによる楽曲)を解説し、太鼓音楽の幅広さや奥深さを立体的に伝えていきます。

「太鼓体験」では、和太鼓の性質を知り、実際に体験してもらうだけでなく、他の子どもたちが叩く音に耳をすまし、そのリズムに合わせていくことでチームワークや協調性を学ぶ機会を提供します。

さらにメンバーによる「トーク」のコーナーは、主に 20 代で構成される鼓童メンバーが子どもの頃に何を考えていたか、どうして鼓童の舞台に立とうと思ったのかななどを語り、将来ある子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えます。また、舞台上で使用されている様々な楽器について、専門家の視点からやさしく解説し、日本の伝統音楽の教育にも貢献します。

以下の観点で演目を選択します。

- [1]和太鼓の響きや音を体感してもらえる。
- [2]和太鼓の種類と様々な演奏スタイルが見ることができる。
- [3]和太鼓と他の楽器の組み合わせから多様性と可能性を感じてもらえる。
- [4]太鼓以外にも邦楽器のアンサンブル(調和)が実感できる。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

「太鼓体験」で生徒の代表(約 12 名)が、実際に太鼓を叩きながら覚えたリズムパターンを組み合わせ、他の生徒(太鼓のほか手拍子など)や、鼓童メンバーと共演します。

太鼓体験と共演は、体育館の舞台下のエリアを使用しますが、会場全体の一体感を生み出す。

〈感染対策〉

- ・出演者が客席エリアや体育館後方へ行くことは避けつつ、手拍子などで会場全体の一体感を生み出す
- ・人と人との間隔を十分に取って行う

児童生徒とのふれあい

太鼓体験や共演時、太鼓を叩いていない生徒には手拍子で参加してもらおう。